

南丹市起業支援サテライトオフィスSoi（京都府南丹市）

作成時点：令和8年3月

ふるさとテレワーク事業

学校

▶ オフィス等

基本情報



写真出所：写真出所：Soi HP (<https://soi.rebs.jp/play>)

位置図

京都府南丹市園部町南八田中山17



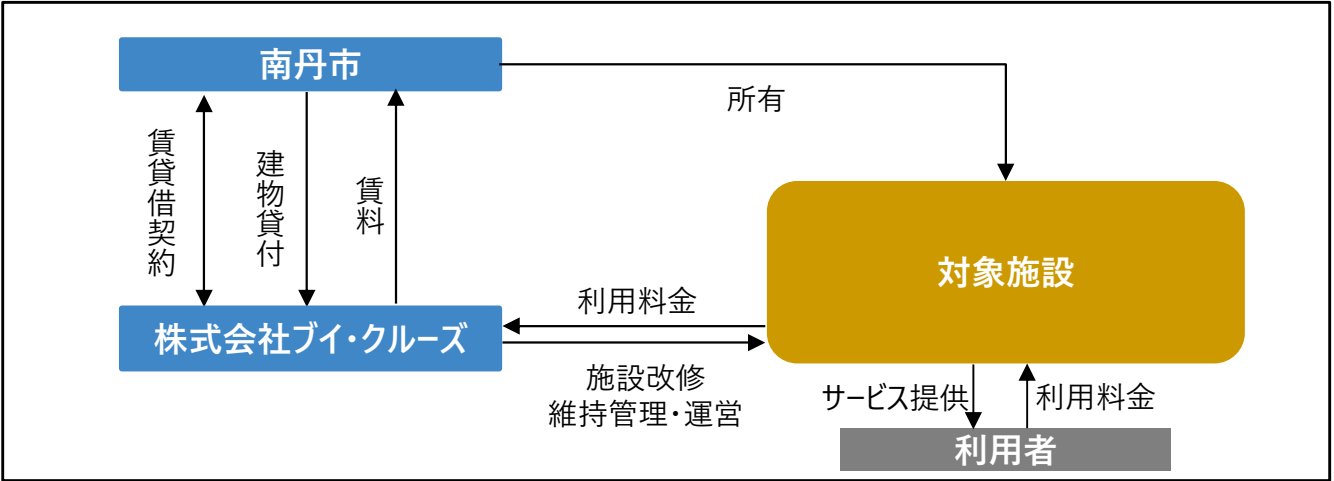
電子国土基本図（国土地理院）を加工して作成

掲載内容
に関する
問合せ先

京都府南丹市総務部総務課
TEL：0771-68-0002
Email：soumuka@city.nantan.lg.jp

事業主体	京都府南丹市（人口：29,018人 ※令和8年3月現在）	
事業手法	賃貸借	
民間事業者の 業務内容	・運営業務（サテライトオフィス、ワーキングスペース） ・施設改修業務（内装工事） ・維持管理業務（施設及び設備管理、清掃、保守管理）	
事業期間	当初は5年更新、現在は1年更新（平成28年12月～）	
事業費等	・改修費 約25百万円 ・その他諸経費（什器、備品等） 約5百万円 ・賃料 当初は約97万円/年、現在は約36万円/年	
活用した 補助金	・ふるさとテレワーク施設推進事業 約30百万円	
事業者	株式会社バイ・クルーズ	
事業経緯	・平成27年3月 閉校 ・平成28年2月 地域ビジネス研究会設立 ・平成28年12月 賃貸借開始 ・平成29年5月 Soi開業	

事業スキーム図



南丹市起業支援サテライトオフィスSoi（京都府南丹市）

作成時点：令和8年3月

ふるさとテレワーク事業

学校 ▶ オフィス等

検討経緯

- 南丹市のノウハウだけでなく、大企業のノウハウや資産を活用することで、ベンチャー企業を育成し、イノベーションを促進することで、地方創生を実現したいと考えた。
- 「産・官・学・地域」が連携し、地域社会と企業の新たな共存共生のモデルを創出することを目的とし、株式会社ブイ・クルーズをはじめとした複数の民間企業、南丹市、同志社大学から構成される地域ビジネス研究会でコンソーシアムを組成した。
- コンソーシアムに南丹市が参画していたため、南丹市内で対象施設を探した。起業支援に係る事業を行うため十分な施設規模や交通利便性を他の廃校と比較検討した結果、旧西本梅小学校を利活用することを決定した。

取組のポイント

- コンソーシアムに南丹市が参画していたため、南丹市の意向とコンソーシアムの事業計画に齟齬が生じず、円滑な事業展開が可能となった。
- 本施設において、約半年間で3回程度、地域に向けた説明会を開催し、サテライトオフィスの事業内容や目的を伝えることで、地域からの事業の理解を得られ、地域と連携した事業展開を可能とした。
- 校庭を利用した映画祭を開催することを、SNSや紙のチラシにより、都市部の若者や知元の方に周知し、施設の魅力を発信した。

得られた効果

- 県外からもオフィス利用者を獲得でき、関係人口創出に寄与した。
- 数百人を集める映画祭を複数回開催することで、周辺地域の賑わい創出や交流人口増加、南丹市の認知度向上に寄与した。
- 地域の方からの相談窓口としての位置づけを確立できたことで、地域の方の要望を把握することができ、より地域のニーズにあわせた事業の取組みが可能となった。

利活用前



写真出所：南丹市提供

利活用後

